

会議録（要旨）

会議名称	第19回阿南市子ども・子育て会議
開催日時	令和6年9月20日（金）15時00分～16時20分
開催場所	阿南市役所 2階202・203会議室
出席委員 （敬称略）	石橋 奈々、山口 亜弓、川上 志穂、犬伏 友美、鎌田 耕一郎、折原 彰子、明石 あゆみ、横手 桂子、梶本 悦子、木内 啓嗣、上手 永子、金久 博、幸田 初美、片山 美幸、小西 嘉代子、黒川 喜美恵、佐々木 晃
会議内容	<p>【開会】 自己紹介</p> <p>【議題】 （1）第3期阿南市子ども・子育て支援事業計画骨子案について <u>委員の意見等</u> ・なし</p> <p>（2）第3期阿南市子ども・子育て支援事業計画の施策体系について <u>委員の意見等</u> ・「犯罪等から子どもを守る取組の推進」に「保育所、幼稚園の防災に関する取組の推進」とあるが、認定こども園が抜けているため、表記を修正してほしい。 ・「犯罪等から子どもを守る取組の推進」に「福祉避難所の設置等に関する取組」とあるが乳幼児を抱えた保護者の方の避難所の設置を強く要望したい。 ・就学援助、コミュニティスクールの活用、多様な体験活動のそれぞれの内容について教えていただきたい。 ・阿南市は子育てに関して手厚い印象がある。それを言語化、見える化し、わかりやすく発信することで、自分たちはいいところに暮らしていると思えると思う。そのあたりの発信をよろしく願いたい。 ・不登校の子どもが増えており、様々な形の支援が必要となると思う。こどもの居場所をつくった時に、そこに学校の先生と連携し、特に学習面での遅れがでないような取組があればいいと思う。 ・子育て会議では多方面の方が委員として参加されている。現実的に阿南市がどのようなことをしていくのか、また阿南市独自の考えなどがあれば、この会議に諮っていただき、参考意見を聞いて吸い上げていただければと思う。</p> <p>（3）その他（阿南市の子育て施策についての自由意見） <u>委員の意見等</u> ・徳島市から来たが、阿南市の就学前の支援制度にはすごく助かっている。 ・保育料が0歳児から無料になっているのは手厚くていいと思う。今後は小学校、中学校の給食費の無償化を期待したい。 ・広島から転勤で阿南市にきて、子育てのしやすさを身にしみている。特に給食は地産地消を積極的にしていただいていることで、子どもたちの好き</p>

嫌いがなくなってきたのがありがたいと思う。

- ・小松島市で働いているが、周りの同僚から医療費の無償化など阿南市で子育てしていることを羨ましいと言われて、恵まれた環境で子育てができていると感じた。
- ・阿南市の子育て施策はありがたいと感じている。その点を継続していただき、色々な意見を聞きながら、さらによくしていただきたい。
- ・子育てしやすい＝働きやすい社会、会社に勤めていることも重要である。市に対してお願いしたいことは、就労支援や会社の労働環境の把握のほか、中学生、高校生、その先の教育費について所得に応じた支援をお願いしたい。
- ・高校生との意見交換で伝える必要があったことは、皆さんもこれから家庭をもって子育てしていく立場になることであり、そのためにも高校生のうちからしっかりと知識を持つことが大事であるということだと思う。
- ・今後子育てをする側、あるいは地域、行政、学校などの相談を受ける側の状況を考えることも子育て計画として重要であり、若い親が誕生する、若い親が相談できるようにすることが、子育てあるいは子どもの成長を支えることになると思う。
- ・保育所の受け入れは0歳児からであるが、実際には6か月からである。他の市町村では産後明け、2か月からのところもある。育休を取れない家庭もあるため、6か月からではなく、もう少し門を広げることも考えていただきたい。
- ・全国各地では「ネウボラ」（フィンランドの言葉で「アドバイスの場」）として、若い親世代などが気軽に利用してアドバイスを貰える環境づくりが進んでいる。その点で経済的支援も重要ではあるが、地域の中でそのようなソフト面的な場の提供なども計画として進められたら素晴らしいと思う。
- ・0歳児からの無償化について、育休が取れない方など施設を利用しなければいけない方の受け皿を整備することは必要ではあるが、無償化によって預けなければ損という考え方になることを施設側として危惧している。
- ・在宅育児について、より一層の在宅育児の支援や、その方たちが色々ところでアドバイスを貰えるような場を作っていくことで、もう一歩進んだ子育てがしやすいまちになると思う。

【閉会】